

1 栽培概要

認証番号	0310021		栽培管理者	松尾 守		品目名	うるち米(早期)	品種名	コシヒカリ
播種	(計画)	令和 6年 3月 上旬	(計画)	令和 6年 5月 上旬	収穫 期間	(計画)	令和 6年 8月 中旬 ~ 令和 6年 8月 下旬		
	(実績)	年 月 日	(実績)	年 月 日		(実績)	年 月 日 ~ 年 月 日		
	☒ 購入種子・苗 ☐ 自家採種 ☒ 種子消毒あり ☐ 周年栽培 ☐ 多年生・永年性作物		☐ 周年栽培 ☐ 多年生・永年性作物			☐ 周年栽培 ☐ 施設栽培			
	定植		作型						
化学肥料 代替技術 ※用いる 技術に	有機質肥料の利用		緩効性肥料の利用		化学農薬 代替技術 ※用いる 技術に	生物的防除		物理的防除	
	☒ 福岡県産コメくん2号、福岡県産 (コメくん3号、7月～8月～21734、 有機スコート355)		☒ (有機スコート355)			☒ (エコホープDJ)		☒ (温湯消毒)	
	☐ たい肥の利用 ()		☐ 緑肥の利用 ()			☒ 耕種的防除 植付本数低減によ (るウシカ類発生抑 制)		☒ 天然物質由来農薬の利用 (カスミン液剤)	
	☐ その他 ※具体的に記述すること		☐ その他 ※具体的に記述すること			☐ その他 ※具体的に記述すること			

2 資材の使用計画・実績

計画 年 月 旬	実績 年 月 日	作業名 または 使用目的	堆肥・肥料			雑草・病害虫防除	
			資 材 名	施用量 (kg/10a)	化学肥料 由来の 窒素量 (kg/10a)	資 材 名	防除対象 農薬の 成分回数
6 3 上		(本圃) 土壌改良剤散布	メテグ又はケイカル又は珪鉄	160	—		
6 3 上			又はとれ太郎	60	—		
6 3 中		(育苗) 種子消毒				温湯消毒、エコホープDJ	0
6 3 下		播種	黒粒培土又はせいしん培土又は 特選培土又はみのりエース	80	0.02	カスミン液剤	0
6 5 上		基肥	別記1		1.40~ 3.00		
6 5 上		育苗箱施薬				別記2	1~2
6 5 上		田植え					
6 5 中		除草剤散布				別記3	2
6 6 下		除草剤散布				別記4	1~2
6 6 下		病害虫防除					
6 7 上		穂肥	別記1		0~0.74		
6 7 下		病害虫防除				別記5	1~2
6 8 中		収穫					
						合計7成分回数以内に収める	
			合 計		2.16~3.02	合 計	5~7

普及指導センター名: 飯塚

確認者氏名: 城丸裕次

水稻、八木山コシヒカリ（早期）、松尾 守

別記1 ほ場により、A～C体系のいずれかを施用

体系	基肥			穂肥			合計
	資材名	施用量 (kg/10a)	うち化学肥料 成分の割合 (%)	資材名	施用量 (kg/10a)	うち化学肥料 成分の割合 (%)	
A	福岡産徳ユークン2号 (TN12 ON52.5%)	35	2.00	福岡産徳ユークン3号 (TN10 ON51%)	15	0.74	2.74
B	プレーバーペースト734 (TN7 ON50%)	40	1.4	福岡産徳ユークン3号 (TN10 ON51%)	15	0.74	2.14
C	有機エムコート355	45	2.925	—	—	—	2.925

別記2

箱施薬（いずれか1つ）		
資材名	うち化学合成 農薬の割合	防除対象 農薬の成分回 数
プリンス粒剤	○	1
ツインターボ箱粒剤08	○	2

別記3

除草剤散布（いずれか1つ）		
資材名	うち化学合成 農薬の割合	防除対象 農薬の成分回 数
キマリテ(1kg粒剤・フロア・ル・ジ・ヤン)	○	2
ブライオリティ(1kg粒剤・フロア・ル・ジ・ヤン)	○	2
ビクトリーZ(1kg粒剤・フロア・ル・ジ・ヤン)	○	2

別記4

補正除草剤・防除（必要に応じて、いずれかを1～2成分まで散布）					
除草剤散布			病害虫薬剤散布		
資材名	うち化学合成 農薬の割合	防除対象 農薬の成分回 数	資材名	うち化学合成 農薬の割合	防除対象 農薬の成分回 数
クリンチャーEW	○	1	ゴウケツ1キロ粒剤	○	1
クリンチャー1キロ粒剤	○	1	ゴウケツパック	○	1
バサグラン粒剤(ナトリウム塩)	○	1			
バサグラン液剤(ナトリウム塩)	○	1			
モゲトン粒剤	○	1			

別記5

病害虫薬剤散布（必要に応じて、いずれかを1～2成分まで散布）		
資材名	うち化学合成 農薬の割合	防除対象 農薬の成分回 数
スタークル豆つぶ	○	1
エクシード(粉剤DL・フロアブル)	○	1

1 栽培概要

認証番号	0310021		栽培管理者	松尾 守		品目名	うるち米(早期)	品種名	コシヒカリ
播種	(計画)	令和 6年 3月 上旬	定植	(計画)	令和 6年 5月 上旬	収穫 期間	(計画)	令和 6年 8月 中旬 ~ 令和 6年 8月 下旬	
	(実績)	年 月 日		(実績)	年 月 日		(実績)	年 月 日 ~ 年 月 日	
	☒ 購入種子・苗 ☐ 自家採種 ☒ 種子消毒あり ☐ 周年栽培 ☐ 多年生・永年性作物			☐ 周年栽培 ☐ 多年生・永年性作物			作型	☐ 周年栽培 ☐ 施設栽培	
化学肥料 代替技術	☒ 有機質肥料の利用 福岡嘉穂ユキくん2号、福岡嘉穂 (ユキくん3号、ブルーベリースト734、 有機エコート355)		☒ 緩効性肥料の利用 (有機エコート355)		化学農薬 代替技術	☒ 生物的防除 (エコホープDJ)		☒ 物理的防除 (温湯消毒)	
	☐ たい肥の利用 ()		☐ 緑肥の利用 ()			☒ 耕種的防除 植付本数低減によ (るウシカ類発生抑 制)		☒ 天然物質由来農薬の利用 (カスミン液剤)	
	☒ ※用いる 技術に		☒ ※用いる 技術に			☒ その他 ※具体的に記述すること		☒ その他 ※具体的に記述すること	
	☐		☐			☐		☐	

2 資材の使用計画・実績

計画 年 月 旬	実績 年 月 日	作業名 または 使用目的	堆肥・肥料			雑草・病害虫防除	
			資 材 名	施用量 (kg/10a)	化学肥料 由来の 窒素量 (kg/10a)	資 材 名	節減対象 農薬の 成分回数
6 3 上		(本圃) 土壌改良剤散布	ミナラルG又はケイカル又は珪鉄	160	—		
6 3 上			又はとれ太郎	60	—		
6 3 中		(育苗) 種子消毒				温湯消毒、エコホープDJ	0
6 3 下		播種	黒粒培土又はせいしん培土又は 特選培土又はみのりイエス	80	0.02	カスミン液剤	0
6 5 上		基肥	別記 1		1.40~ 3.00		
6 5 上		育苗箱施薬				別記 2	1~2
6 5 上		田植え					
6 5 中		除草剤散布				別記 3	2
6 6 下		除草剤散布				別記 4	1~2
6 6 下		病害虫防除					
6 7 上		穂肥	別記 1		0~0.74		
6 7 下		病害虫防除				別記 5	1~2
6 8 中		収穫					
						合計7成分回数以内に収める	
合 計					2.16~3.02	合 計	5~7

水稻、八木山コシヒカリ（早期）、松尾 守

別記1 ほ場により、A～C体系のいずれかを施用

体系	基肥			穂肥			合計
	資材名	施用量 (kg/10a)	うち化学肥料由来の窒素量 (kg/10a)	資材名	施用量 (kg/10a)	うち化学肥料由来の窒素量 (kg/10a)	
A	福岡嘉穂ユーキくん2号 (TN12 ON52.5%)	35	2.00	福岡嘉穂ユーキくん3号 (TN10 ON51%)	15	0.74	2.74
B	プレーバーペースト734 (TN7 ON50%)	40	1.4	福岡嘉穂ユーキくん3号 (TN10 ON51%)	15	0.74	2.14
C	有機エムコート355	45	2.925	—	—	—	2.925

別記2

箱施薬（いずれか1つ）		
資材名	うち化学合成農薬の有無	節減対象農薬の成分回数
プリンス粒剤	○	1
ツイインターボ箱粒剤08	○	2

別記3

除草剤散布（いずれか1つ）		
資材名	うち化学合成農薬の有無	節減対象農薬の成分回数
キマリテ(1kg粒剤・フロアブル・ジヤンボ)	○	2
プライオリティ(1kg粒剤・フロアブル・ジヤンボ)	○	2
ビクトリーZ(1kg粒剤・フロアブル・ジヤンボ)	○	2

別記4

補正除草剤・防除（必要に応じて、いずれかを1～2成分まで散布）				
除草剤散布			病害虫薬剤散布	
資材名	うち化学合成農薬の有無	節減対象農薬の成分回数	資材名	うち化学合成農薬の有無
クリンチャーEW	○	1	ゴウケツ1キロ粒剤	○
クリンチャー1キロ粒剤	○	1	ゴウケツバック	○
バサグラン粒剤(ナトリウム塩)	○	1		
バサグラン液剤(ナトリウム塩)	○	1		
モゲトン粒剤	○	1		

別記5

病害虫薬剤散布（必要に応じて、いずれか1～2成分まで散布）		
資材名	うち化学合成農薬の有無	節減対象農薬の成分回数
スタークル豆つぶ	○	1
エクシード(粉剤DL・フロアブル)	○	1